

# 平成27年度 大阪大学 教員免許状更新講習〈選択領域〉

教科指導・生徒指導その他教育の充実に関する事項

## 「新しい歴史学と歴史教育」

大阪大学史学系は、「大阪大学歴史教育研究会」（2005年創立）などの場で、高大連携による歴史教育刷新の取り組みを進めてきました。最近の活動成果には、今回の講師陣が執筆・編集の中心となった大学教養課程用教科書『市民のための世界史』（大阪大学歴史教育研究会編、大阪大学出版会刊）があります。今回の講習では、これらの経験にもとづき、近現代のグローバル経済、新しい東アジア史・中国史、アジアの中の日本史など阪大が得意とするテーマを取り上げて、最近の中学・高校教科書の変化の背景にもなっている、新しい世界史像や歴史学の方法論について解説します。21世紀の歴史教育にこそ必要な、「目から鱗」の「わくわく感」を先生方に味わっていただければ幸いです。

対象者

中学校社会科  
高等学校 地歴・公民科担当教諭

開催  
日時

8/17(月) 9:30 ~ 17:30  
8/18(火) 9:30 ~ 17:30  
8/19(水) 9:30 ~ 17:40  
※テスト時間含む

定員

30名

受講料

18,000円

時間数

18時間（6時間×3日）

場所

大阪大学 豊中キャンパス  
全学教育推進機構 総合棟 スチューデントcommons

※各講師プロフィール、講習の詳細内容は裏面参照。

（注意）

講習内容はやむを得ず変更することがあります。

講習の申し込み期間は平成27年5月21日～5月26日です。

※先着順受付ではありません。修了確認期限が平成28年3月末の方を優先的に受付します。

→定員を超えての申込があった場合は抽選とします。

具体的な申込方法は、大阪大学ホームページの案内をご参照ください。

⇒大阪大学ホームページ 教員免許状更新講習

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/career/teacher/Training>

# 講習内容

## ①現代歴史学と東アジア世界の新しい理解

桃木 至朗 教授

近代以来の歴史学の大きな流れ(何を対象にどういう方法で研究してきたか)を概観したあと、中華帝国や海域アジア史に関する新しい研究成果にもとづいて、近代以前の東アジア～東南アジア史を理解するいくつかのポイントを紹介します。「漢字文化」「儒教」「東アジア世界」「朝貢と冊封」「鎖国」などの大きな事項から、「日本の旧暦(←中国暦)はどんな原理にもとづく暦か」「中国人(漢族)はなぜ夫婦別姓か」「東アジア諸国のお客さんに冷たいご飯の弁当を出すのは適切か」など日常生活の問題まで、近隣諸国との相互理解に必須でありながら、これまでの歴史教育が不正確・不十分な扱いをしてきた事柄を、この際集中的に見直していただきます。

## ②アジアから考えるグローバル経済史

秋田 茂 教授

「長期の18世紀」から現代までのグローバル経済史の最新の研究を概観し、アジアから世界史・グローバルヒストリーを新たに考える論点を考えてみたいと思います。(1)近世の「長期の18世紀」に関しては、K.ポメラantzが提起した「大分岐」論争と生活水準論争を、(2)近代の19世紀に関しては、イギリスのヘゲモニーをめぐる議論と、世界経済におけるアジアの相対的独自性を明らかにした「アジア間貿易」論を、(3)現代の20世紀に関しては、「東アジアの経済的再興」の歴史的起源と冷戦・脱植民地化・開発の問題を、それぞれ最新の研究史を紹介しながら位置づけてみたいと思います。

## ③アジアのなかでとらえ直す日本中世史

中村 翼 助教

かつて日本の中世は「武士の時代」とされてきました。しかし、そうした歴史像は、学問的にはすでに過去のものです。では、中世日本の特徴とは何なのか—この問題について、15世紀後半の日本をモチーフとする映画「もののけ姫」を手がかりに考えてみます。具体的には、中世荘園、産業流通、信仰生活、軍事技術、自然環境との向き合い方などがトピックとなりますが、もちろん、日本中世の特徴は、前後の時代やアジアとの比較および関係性への追求なしに理解できません。したがって、この試みは、自ずからアジアのなかの日本古代～近世史(9～17世紀)という射程と視角を持つことになるはずです。なお、事前に映画「もののけ姫」をご覧になれることを強く奨励します。

# 講師プロフィール

桃木至朗 教授	専門は①ベトナムを中心とする東南アジア史、②東アジア・東南アジア海域史、③世界史教育(大阪大学歴史教育研究会代表)。著書に『歴史世界としての東南アジア』(山川出版社、世界史リブレット)、『海域アジア史研究入門』(共編著、岩波書店)、『新版東南アジアを知る事典』(共編著、平凡社)、『わかる歴史・面白い歴史・役に立つ歴史—歴史学と歴史教育の再生を旨として』(中世大越国家の成立と変容)(いずれも大阪大学出版会)など。
秋田 茂 教授	専門はイギリス帝国史、グローバルヒストリー。著書に『1930年代アジア国際秩序』(共編著、溪水社)、『イギリス帝国とアジア国際秩序—ヘゲモニー国家から帝國的な構造的権力へ』(名古屋大学出版会)、『アジアからみたグローバルヒストリー：長期の18世紀から東アジアの経済的再興へ』(編著、ミネルヴァ書房)、Gentlemanly Capitalism, Imperialism and Global History (編著、Palgrave Macmillan) など。
中村 翼 助教	専門は①日本中世史、②東アジア海域史。 論文に「鎌倉中期における日宋貿易の展開と幕府」(『史学雑誌』119-10)、「日元貿易期の海商と鎌倉・室町幕府」(『ヒストリア』241)、「鎌倉禪の形成過程とその背景」(『史林』94-4)、「鎌倉幕府と禅宗」(村井章介編『東アジアのなかの建長寺』、勉誠出版)、「もののけ姫」(藤川隆男・後藤敦史編『アニメで読む世界史』2、山川出版社)など。

[お問い合わせ先]

大阪大学教育推進部教育企画課学務係

(TEL) 06-6879-7947 or 4827

(Mail) gakuetc-stu@ml.office.osaka-u.ac.jp